



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成31年2月13日

上場会社名 森下仁丹株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4524 URL <https://www.jintan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 駒村 純一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 森田 真司 TEL 06-6761-1131
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	7,816	△1.7	459	2.7	476	4.9	370	35.8
30年3月期第3四半期	7,948	△1.3	446	27.8	454	26.1	272	△0.8

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 173百万円 (△66.3%) 30年3月期第3四半期 516百万円 (110.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	91.08	—
30年3月期第3四半期	67.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	13,946	9,771	70.1
30年3月期	14,186	9,801	69.1

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 9,771百万円 30年3月期 9,801百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	50.00	—
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	37.50	37.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合後の基準で換算した平成30年3月期の1株当たり年間配当金は50円となります。

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	1.9	550	0.9	550	△1.8	400	1.5	98.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期3Q	4,150,000株	30年3月期	4,150,000株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	82,547株	30年3月期	82,465株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期3Q	4,067,534株	30年3月期3Q	4,067,828株

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかに回復しております。企業収益は自然災害や既往の原油高により下押しされましたが、改善基調を維持しております。個人消費は、雇用所得環境の改善が続いているものの、天候不順による外出手控えや物価上昇による実質所得の伸び悩みを受けて緩やかな持ち直しにとどまっております。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は、原油高に伴うエネルギー価格の大幅上昇を主因としてゼロ%台後半から1%の範囲で推移しております。また、「生鮮食品及びエネルギーを除く総合」の上昇率は外食など一部サービス価格の上昇を受けてプラスとなっておりますが、ゼロ%台前半の伸びにとどまっております、物価の基調は弱くなっております。

当社グループの属する業界も、異業種を含む大手企業の新規参入など更なる競合激化は続いており、当社グループを取り巻く環境は依然として厳しいものとなっております。

このような経済状況のもとで、当社グループは、「伝統と技術と人材力を価値にする」をビジョンとし、引き続き積極的な営業活動を展開しております。しかし、当第3四半期連結累計期間においては、フレーバーカプセルの受託が前年同四半期と比べ増収となりましたが、当社独自の機能性素材であるローズヒップ及びサラシアや機能性表示食品「ヘルスエイド®シリーズ」の販売が前年同四半期と比べ減収となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高7,816百万円（前年同四半期比1.7%減）、営業利益459百万円（前年同四半期比2.7%増）、経常利益476百万円（前年同四半期比4.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益370百万円（前年同四半期比35.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① ヘルスケア事業

当セグメントにおきましては、メディケア商品が前年同四半期と比べ増収となりましたが、機能性表示食品「ヘルスエイド®シリーズ」が前年同四半期と比べ減収となり、売上高は、5,902百万円と前年同四半期と比べ88百万円の減収となりました。

損益面では、効率的なプロモーション活動等に努めましたが、売上高が低調に推移するなか、セグメント利益は、392百万円と前年同四半期と比べ89百万円の減益となりました。

② カプセル受託事業

当セグメントにおきましては、フレーバーカプセルが前年同四半期と比べ増収となりましたが、医薬品カプセルやその他の受託については前年同四半期と比べ減収となり、売上高は、1,907百万円と前年同四半期と比べ28百万円の減収となりました。

損益面では、効率的な研究開発投資に努めたこともあり、セグメント利益は、46百万円と前年同四半期と比べ48百万円の増益となりました。

③ その他

当セグメントにおきましては、売上高は、7百万円と前年同四半期と比べ14百万円の減収となりました。

損益面では、セグメント利益は、20百万円と前年同四半期と比べ53百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は5,540百万円となり、前事業年度末に比べ216百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が31百万円、受取手形及び売掛金が90百万円、商品及び製品が58百万円、原材料及び貯蔵品が32百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は8,405百万円となり、前事業年度末に比べ455百万円減少いたしました。これは主に減価償却の進捗による有形固定資産の減少と、株式の時価評価による投資有価証券の減少によるものであります。

この結果、資産合計は、13,946百万円となり、前事業年度末に比べ239百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,992百万円となり、前事業年度末に比べ355百万円減少いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が13百万円、未払法人税等が47百万円、賞与引当金が111百万円、ポイント引当金が42百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は2,182百万円となり、前事業年度末に比べ145百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、4,174百万円となり、前事業年度末に比べ209百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は9,771百万円となり、前事業年度末に比べ29百万円減少いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が194百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は70.1%（前事業年度末は69.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成30年5月11日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,097	2,128
受取手形及び売掛金	1,667	1,758
商品及び製品	621	680
仕掛品	397	328
原材料及び貯蔵品	463	495
その他	88	162
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	5,324	5,540
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,943	1,846
機械装置及び運搬具（純額）	1,131	999
土地	2,217	2,217
建設仮勘定	12	8
その他（純額）	389	352
有形固定資産合計	5,694	5,425
無形固定資産		
投資その他の資産	158	209
投資有価証券	2,946	2,706
その他	61	64
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,008	2,770
固定資産合計	8,861	8,405
資産合計	14,186	13,946

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	830	822
1年内返済予定の長期借入金	347	334
未払法人税等	64	16
賞与引当金	198	86
返品調整引当金	58	58
売上割戻引当金	27	26
ポイント引当金	42	—
設備関係支払手形	20	50
その他	759	596
流動負債合計	2,347	1,992
固定負債		
長期借入金	757	943
繰延税金負債	662	628
退職給付に係る負債	569	571
その他	47	39
固定負債合計	2,037	2,182
負債合計	4,384	4,174
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,537	3,537
資本剰余金	963	963
利益剰余金	4,330	4,497
自己株式	△139	△139
株主資本合計	8,692	8,859
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,103	909
退職給付に係る調整累計額	4	2
その他の包括利益累計額合計	1,108	911
純資産合計	9,801	9,771
負債純資産合計	14,186	13,946

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	7,948	7,816
売上原価	3,693	3,696
売上総利益	4,254	4,120
販売費及び一般管理費	3,808	3,661
営業利益	446	459
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	17	25
その他	2	3
営業外収益合計	19	28
営業外費用		
支払利息	9	7
その他	3	3
営業外費用合計	12	10
経常利益	454	476
特別損失		
投資有価証券評価損	29	—
その他	0	—
特別損失合計	30	—
税金等調整前四半期純利益	423	476
法人税、住民税及び事業税	48	57
法人税等調整額	101	48
法人税等合計	150	106
四半期純利益	272	370
親会社株主に帰属する四半期純利益	272	370

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	272	370
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	240	△194
退職給付に係る調整額	2	△2
その他の包括利益合計	243	△196
四半期包括利益	516	173
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	516	173

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,990	1,935	7,926	22	7,948	—	7,948
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	204	204	△204	—
計	5,990	1,935	7,926	226	8,153	△204	7,948
セグメント利益 又は損失(△)	481	△2	479	△32	446	—	446

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,902	1,907	7,809	7	7,816	—	7,816
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	205	205	△205	—
計	5,902	1,907	7,809	212	8,022	△205	7,816
セグメント利益	392	46	438	20	459	—	459

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。